

ファッションショー
やeスポーツ大会を
やってみたい！



【左】石橋伸寛さん（2年）
【右】荒巻慧虎さん（1年）



こんな
レイアウトにも
できるんです！



福山彩音さん（2年）

suitoとい
2

レイアウトは無限大
白秋ホール

水都やながわの顔となる大ホール「白秋ホール」は、1階に空気浮上式の客席を使用。1階を自由にレイアウトできます。「動かしてみたい」という高校生広報部からの要望で、実際に客席移動を体験してもらいました。また、ホール後方の壁は開放可能。開放すればホールからロビー、広場、掘割と連続する柳川独自の空間が生まれます。

suitoとい
4

個室数が変わる
1階トイレ

女性視点で
考えられていて
good!!



進藤比菜さん（2年）

女子が注目したのが、1階西側のトイレ。男女の仕切りを移動することで女性トイレの個数を増やすことができます。イベント時に混雑する女性トイレもこれで安心です。

suitoとい
3

お堀に面したすてきな
2階ロビー

休日の待ち合わせ
場所にも最高



#休憩時間に
全集中！

石川蒼馬さん（2年）

「放課後ここで友人とおしゃべりしたい」と高校生が目付けたのが、2階ロビー西側にある休憩スペース。お堀に面した外からの光に、高校生の胸が高鳴ったようです。

suitoとい
1

掘割と一体となった
水辺空間

舟で行けるなんて
スゴイ！



#川下りしか
勝たん!!※

吉川杏奈さん（2年）

※「勝たん」とは「1番おすすめ」という意味



水都やながわは、水郷柳川の最大の特徴である掘割に隣接しています。掘割に面した北側には、市民の憩いの場となる広場を整備。もちろん、船着き場もあるので、川下りをして訪れることができます。また、西鉄柳川駅前に整備する乗船場が完成すれば、駅からどんこ舟に乗って移動することも可能。高校生広報部もこの水辺空間が気に入ったようです。



水都
やながわの

好いとー

suitoとこ

いよいよ12月20日にオープンする市民文化会館「水都やながわ」。同館は文化芸術分野で活動する人だけでなく、待ち合わせや散歩など誰もが気軽に訪れることができる施設です。今回は一足早く施設を見学した高校生広報部（柳川高校）の皆さんが、若い視点から見た同館のおすすめポイントを紹介します。

【山田】 いよいよ12月20日、柳川市民文化会館が、オープンします。

今日は、皆さんに、このホールへの期待や思いなどを聞いていきたいと思っています。

コンセプトは 水上に浮かぶ 柳川の舞台

【山田】 市民文化会館は「水上に浮かぶ柳川の舞台」というコンセプトになっていますが、設計の際には、どのようなことを意識したんでしょうか。

【前田】 柳川のまちは昔から訪れる度に、「このまちが掘割との関係をとても大切にしている」と感じていました。新しい施設は掘割の水辺との関係とその魅力を最大限に引き出す劇場にしたと考えました。

具体的には、この白秋ホールの座席を

自由に動かすことができるようにして、堀側の壁を大きく開放することで、掘割から広場、ロビー、ホールと連続する空間を生み出せるようにしました。

【山田】 水辺の空間を大切にしているんですね。文化協会の立花会長は水の会の会長も務められています。柳川の文化を語る上で、掘割とはどういったものになるんでしょうか。

【立花】 柳川にとって掘割は命です。その掘割と一体となれる施設にしてくれたことを、とてもうれしく思います。お客さんはどんこ舟に乗ってこの施設まで来ることができ、演者は舟に乗り込んで登場することができ、この施設でどんなことをやろうかと考えるだけでワクワクしますよ。このホールで北原白秋の楽曲「海道東征」を合

構想から約7年、いよいよ開館する市民文化会館「水都やながわ」。そこで今回は、市文化協会の立花民雄会長と 柳川高校古賀賢校長、日本設計前田哲チーフ、音楽家の古賀理紗さんに開館前の大ホール「白秋ホール」のステージの上で、それぞれの立場から施設や文化芸術分野への考えについて語ってもらいました。

座談会

コーディネーター 山田 三代子さん

“おもてなし柳川” 市民会議副会長。道守柳川ネットワーク代表。添乗員として長年世界中を巡った経験を基に、柳川でおもてなしの心を広めている。

音楽家 古賀 理紗さん

白秋の詩を歌いながら、柳川市を中心に九州各地で演奏活動が続けている。福岡県青少年アンビシャスメンバー、ハンドベル「ゆりの会」代表。

市文化協会 立花 民雄 さん

柳川市文化協会会長。1市2町の文化協会の統合に尽力。平成29年6月新協会初代会長となる。地域に根差した文化振興に関わる。

柳川高校 古賀 賢 さん

学校法人柳商学園「柳川高等学校」理事長・校長。「大人が夢を語らなければ、子どもたちの目は輝かない」「世界一、世界初を目指せ」がモットー。

日本設計 前田 哲 さん

九州の地域に根づいた劇場建築を数多く手がける。柳川市民文化会館の設計を担当。株式会社日本設計チーフ・アーキテクト。

唱しようと準備を進めています。コロナウイルスの影響で思うように準備が進んでいませんが、白秋の詩を音にして発信して、名実ともに「白秋ホール」に育てていきたいと思っています。

【山田】 そういえば、古賀さんは先日の音響テストに参加されたと聞きました。ホールの音響はいかがでしたか。

【古賀理】 音響はとても良いです。どんなこ舟で橋の下をくぐるとき、船頭さんの歌声が響きますよね。お客さんが入ると少し変わるでしょうが、それくらい音がとても響くので、気持ちよく歌うことができます。

文化芸術は人を なげ成長させる

【山田】 続いて文化芸

術分野についてお聞きます。古賀さんは音楽家として活動されている傍ら、子どもたちにハンドベルの指導をしているとお聞きました。どういった思いで指導されているのですか。

【古賀理】 音楽を通して子どもに成長してもらおうと、ハンドベルを教えています。子どもは大人に比べ、周りへの気配りが上手にできません。いつもはわがままばかり言っている子どもでも、お年寄りの前で演奏すると、車いすの高齢者の目線に合わせてベルを演奏しているんです。相手のことを考えて行動するってとても大事なことです。文化芸術が持つ力で、子どもとお年寄りがつながって、「どうすれば相手が喜ぶのか」子どもなりに考えて成長していくのを感じています。



文化芸術は教育で 一番大事な分野

【山田】普段高校生と接している古賀校長も、文化芸術の力を感じることはありませんか。

【古賀賢】学校教育において文化芸術は、一番大事な分野だと考えています。これから、答えがない世界に答えを見出さなくてはいけない時代。これまでの歴史が、なかなかヒントにならない中、創造力が大事になってきます。その創造力を育むのは、文化芸術体験です。

市民の皆さんや子どもたちに「居場所」として使ってほしいと思っています。掘割に面した広場はもちろん、ロビーや中庭など、ホール以外にも施設には、水辺に開かれたいい場所がたくさんあります。用事がなくても気軽に訪れて時間を過ごしているうちに、練習をしているきれいな歌声が聞こえてきたり、ダンスの練習風景が目に入ってきたりするのはずです。それをきっかけに「私も何かやってみたい」と思ってもらえればうれしいです。

この建物は、様々な使い方

すばらしい施設が完成したので、生徒たちにこの場所でのいろんな体験をさせて、その創造力を育んでもらいたいですね。そのためには、学校としてこの文化会館を積極的に活用していこうと思います。

【山田】今、古賀校長から施設の活用の話が出ました。この施設をどのように活用していくのか。設計の前田さんからも活用方法についてお話を頂ければと思います。

【前田】この施設の「顔」は、全て掘割に向いています。柳川ならではの施設活用への設計者の思いとしては、まずは

を受け入れるつくりになっています。次の時代を担う子どもたちが、「こういう使い方もできる」とアイデアを出し合って、これまでにない表現や催しをたくさん生み出してほしいですね。

独自の水辺空間から 柳川の文化を創造

【山田】前田さんから次世代についての話が出ました。市民文化会館は基本理念に「つくる そだてる ふれる」を掲げています。次世代と文化の育成。この観点から立花会



長にお話しをお聞きしたいと思っています。

【立花】文化芸術は、何かそこに立派なものが最初からあるんじゃないかと作っていくもの。この柳川で柳川の文化を作っていくかなくてはいいかと思えます。そして文化は、遊びの中から生まれるもの。私が小さい頃は、この掘割が私たちの遊び場でした。舟で行ったり来たりして、ウナギを採ったり、泳いだり、そんなことばかりしていましたよ。

うれしいことに、この施設は水辺空間と一体となっています。この水辺で子どもが遊

すね。

【山田】教育の視点から見ると、この文化会館はどのように映っていますか。

【古賀賢】私が初めて舞台を見たのは、先月閉館した市民会館でした。初めて見た舞台の感動は今でも覚えています。それ以来、舞台やバレエをよく見るようになったんです。私に感動を与えてくれた市民会館が、今回新たに文化会館として生まれ変わる。生まれ変わったこのホールで、いろんな舞台を見たり、演奏を聴いたりすることで、「私もこうなりたい」と思う子ど

もが出てくるはずですよ。

んで、その遊びの中で何かを発見していく。そうやって人は育っていくのだと思います。こんな空間は、他のまちでは絶対に作れません。一流のものを見たか聞いたか、りするのも大事だけど、子どもがわくわくしながら遊んで、水辺から柳川独自の文化を創り出していく。そうやって人も文化も成長していくんだと思います。

【古賀理】子どもが遊ぶ中で、大人が「自分たちのときはこうやって遊んだよ」と昔の遊びを教えるように世代を越えて交流していければいいで

【山田】みんなで力を合わせて、人と文化、そしてこの施設を大きく育てていきましよう。本日はありがとうございます。



舞台

音響や照明など舞台を支える人材を育成しようと昨年9月から舞台講座を開催。主に照明や音響などを担当するため、参加者は機材の取り扱いを中心に学んでいます。1階客席を自由にレイアウトできる白秋ホールは客席移動も担当します。



市民と共に

利用者と成長できる育成型のホールへ



アナウンス

人前で話す力を身に付けてもらい、イベント時の司会やナレーションなどを担う人材を育てようと昨年8月から開催しているアナウンス講座。KBCラジオ「艶歌にっぽん」のパーソナリティを務める倉富顕子さんを講師に迎え、発声から間の取り方などの練習を積み重ねています。



ていつかと思っています。

昨年と今年の人財育成講座の全てに参加しています。小さいころから演劇などの舞台を見に行くことが大好きでした。子育てが一段落したので、自分が好きな分野に取り組んでみようかと、昨年のアナウンス講座と舞台スタッフ体験講座に申し込んでみました。参加したら、いろんな人と知り合えてすごく楽しかった。大げさかもしれませんが、自分の居場所が少し増えた感じがしました。今年もみんなと会ったのが楽しみで参加しています。新しい文化会館が皆さんの思い出の場となるように、仲間と一緒に支えていこうと思います。

椿原 恭子さん

仲間との出会いが
最高にうれしい

企画

「新しい施設でこんなイベントがしたい」とメンバーがアイデアを出し合い、議論を重ねてきた市民ミーティング。コロナ禍でもウェブ会議を活用するなどして議論を重ねてきました。来年早々には、市民が企画したイベントが開催されます。いったいどんな内容になっているのか、乞うご期待。



市民文化会館で主役となるのは、もちろん市民です。そのため、イベント企画はもちろん、ホール運営にも多くの市民に携わってほしいと考えています。そこで、同館を支える「人材」を育成しようと、これまで各種講座やミーティングを開催してきました。これまでの文化ホールは、音楽や演劇などの鑑賞を中心に、興行主への施設貸しの運営が中心。しかし、大型の興行が都市部に集中する中、地方で貸館中心のホール運営を続けていくことは難しい状況です。新たに開館する市民文化会館では、貸館事業だけではなく、市民をはじめとした利用者と共に成長できる育成型のホール運営を目指しています。

フロント

イベント時に文化会館に来場した人が最初に接するフロントスタッフ。訪れた人を「おもてなしの心」で迎え、満足して帰ってもらうため、フロント接遇講座で礼儀作法や言葉づかいなどを学んでいます。講師は元博多座副支配人の相澤豊彦さん。同館職員と共に、館が行う主催事業でのチケット受け取りやパンフレット渡し、会場案内などの運営サポートを行う予定です。



OPENまで
あと20日

柳川市民文化会館

12月20日OPEN!!

水都やながわ information



問い合わせは、市民文化会館（☎73・7777）へ。

柳川市民文化会館開館記念・カルチャラル柳川ふれあい文化事業 川井郁子ヴァイオリンコンサート

前売券
12月13日
販売開始



ヴァイオリニスト 川井 郁子

香川県出身。世界的音楽家たちと共演するなど国内外で活躍。第36回日本アカデミー賞最優秀音楽賞受賞、作曲家としても高い評価を得ている。

開館を記念した今年度のカルチャラル柳川ふれあい文化事業として、国内外で活躍するヴァイオリニスト川井郁子さんによるコンサートを開催します。川井さんが使用するのは、世界最高峰のヴァイオリンといわれる1715年製作のストラディバリウス。新たなホールに響き渡る世界最高峰の音色をぜひ堪能ください。

- 日時 来年2月21日（日）、午後3時開演（開場は30分前）
- 入場料 全席指定▷前売券＝一般4000円、学生席（高校生以下）1000円▷当日券＝一般4500円、学生席1500円。前売りで完売した場合、当日券は無し。未就学児は入場不可
- 無料託児 来年2月14日（日）までに要予約
- 前売券販売 12月13日（日）から販売開始、午前10時～
- 前売券販売場所 市民文化会館（上宮永町43・1）
- プレイガイド ▷イープラス（12月13日、正午～）

柳川市民文化会館開館記念事業

柳家花緑・台所おさん「二人会」

前売券
12月26日
販売開始



柳家花緑



台所おさん

文化会館の開館記念事業として、柳家花緑と台所おさんによる落語イベントを開催します。登場するのは、祖父に昭和の名人「柳家小さん」を持つ柳家花緑師匠と、その一番弟子であり柳川出身の台所おさん師匠。新たな劇場で繰り広げられる師弟の共演をお見逃しなく。皆さんの来場をお待ちしています。

- 日時 来年2月14日（日）、午後1時30分開演（開場は30分前）
- 入場料 全席指定3800円。前売りで完売した場合、当日券は無し。未就学児は入場不可
- 無料託児 来年2月7日（日）までに要予約
- 前売券販売 12月26日（土）から販売開始、午前10時～
- 前売券販売場所 市民文化会館（上宮永町43・1）
- プレイガイド ▷ピクニックチケットセンター（☎050・3539・8330、平日午前11時～午後3時）▷チケットぴあ▷ローソンチケット▷イープラス

素晴らしい施設が完成 数年後に市民ミュージカル開催が目標

【黒田館長プロフィール】元筑後市職員。平成7年2月のサザンクス筑後開館から20年を超える期間、市担当者や館長として運営に携わる。同館を筑後地区を代表するホールへと成長させた。元自治体職員として、行政の事情にも精通する。

皆さんはじめまして。初代館長に就任しました黒田洋一です。いよいよ開館する市民文化会館は、県内トップクラスの音響を誇る大小2つのホールを備えています。加えて「掘割沿い」の立地、水辺空間を最大限に生かせる施設機能、そして北原白秋をはじめ多くの文人を生んだ柳川の風土。こんなに可能性を秘めたホールは全国にありません。県内には活動実績が認められ、総務大臣賞を受賞した文化ホールが3施設あります。同館は、4つ目の受賞施設になるポテンシャルを十分に持っています。まずは、質の良い芸術を提供しながら、人財育成に取り組めます。数年後には市民参加型の大規模なミュージカルを開催するのが目標です。皆さん、ぜひ同館に足を運んで、文化芸術に触れてください。



黒田 洋一 館長

水都やながわ公式サイト完成



水都やながわの公式サイトができました。同館のイベント情報やお得な前売券情報などを掲載。パソコンはもちろん、スマートフォンからでも見ることができます。ぜひ一度ご覧ください。



<https://suito-yanagawa.jp/>

残り席わずか

開館記念事業 小山実稚恵 ピアノ開き コンサート



- 日時 12月27日（日）、午後2時開演（開場は30分前）
- 入場料 全席指定▷前売券＝一般5000円、学生席（高校生以下）1000円▷当日券＝一般5500円、学生席1500円。前売りで完売した場合、当日券は無し。未就学児は入場不可
- ※コロナウイルス対策のため座席の両側は空席です。
- 前売券販売場所 市民文化会館（上宮永町43・1）

⑤平成 24 年 2 月の琴奨菊関大関昇進祝賀会には約 1000 人が詰めかけた⑥白秋生誕 120 年を記念した山田洋次監督講演会の毎年 1 月には多くの新成人が市民会館から羽ばたいた⑧高校生自ら企画したイベント⑨ 20 年間活動したジュニアコーラス Wing21 は毎年同館で定期演奏会を開催⑩平成 23 年の團伊玖磨記念 IN2011 はステージで 700 人が合唱



5



6



8



9



7

49 年間ありがとう。
バトンは文化会館へ



10

思い出アルバム



1



2

①昭和 46 年 11 月に落成した市民会館②昭和 59 年には世界的なピアニスト「イエルク・デームス」がオーストリアから来柳。県内外からクラシックファンが詰めかけた③平成 6 年の日韓児童親善交歓会。国境を越えた文化交流の場にもなった。④平成 16 年 10 月に開催された第 19 回国民文化祭ふくおか 2004



3



4

49 年の歴史に幕

昭和 46 年に開館し、柳川の文化芸術を発信し続けた市民会館。11 月 8 日、その長い歴史に幕を下ろしました。49 年もの長きにわたり、多くの市民に愛された同館。その感謝の気持ちをアートで表現した閉館事業により、最後まで文化施設としての役割を果たしてくれました。柳川の文化拠点としてのバトンは、新たに幕を開ける市民文化会館へと引き継がれます。

